

星屑

JULY
VOL. 185

暑中お見舞申し上げます

盛夏の候となりうなるような日々が、
皆様の心健勝を

続いておりますが、

お祈りいたします

平成二年 夏

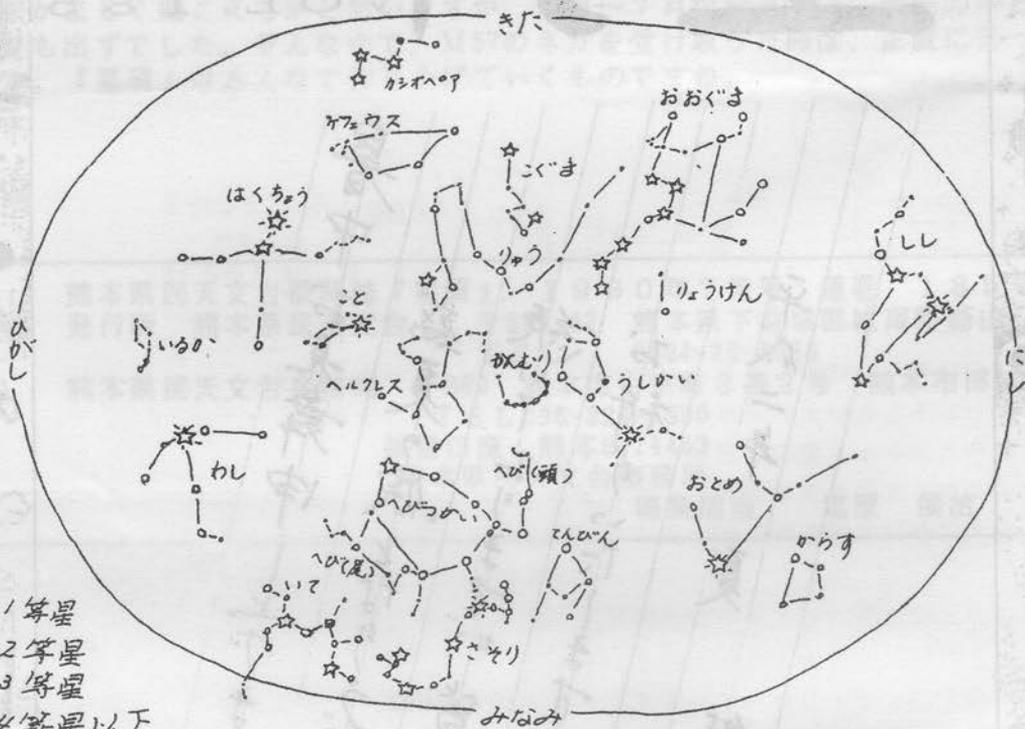
熊本県民天文台

熊本県民天文台

KEIKOの[★]星空散歩

7月上旬***午後9時00頃

7月下旬***午後8時00頃



- ★ 1等星
- ☆ 2等星
- 3等星
- 4等星以下



星の降る夜に 清和

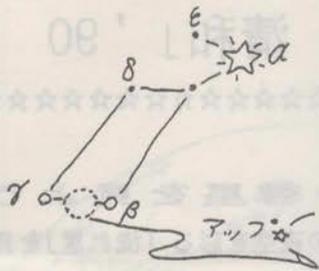
今年は8月8日(土)~9日(日)に行われます。

メインテーマは「レビ- 彗星 土星を見よう。」

ビデオ「タイムマシン 宇宙船地球号」

台文天図集本編

こと座



写真で見た

撮影者 中尾 富作 氏
1990年 7月 17日

24時05分40秒 ~ 08分10秒
(1分30秒露出)

コニカ GX3200 天文台 310mm ³²⁰直焦

1-タッチガイド

こと座のα星ベガは有名な「織り姫の星」ですが、この星の近くに

細長い辺行四辺形があります。この四辺形のγ星とβ星の中程の

所にボーッとした物があります。天文台の望遠鏡で 18mm ~ 9mm

位でよく見ると ^{ドーナツ} ⊙ の形に見えます。別名 環状星雲と呼ばれる

M57です。

KUN*

☆☆

レビー彗星を見よう！

第3回 九州 スター フェスタ

「星の降る夜 IN 清和」'90

☆☆

★'90年の第3回 九州スターフェスタは、レビー彗星を見よう！をメインテーマに、今、最接近となっている「土星」それに夏の夜空を彩る「流れ星」を見てみよう！と、昨年と同じ阿蘇外輪山の南麓＝熊本県・清和村の井無田高原で開催されます。

日時： 8月18日(土)～8月19日(日)
場所： 熊本県上益城郡清和村・井無田高原＝朝日小学校グラウンド
参加費： 小学生以上1人200円、その他、1人1,000円(夕、夜、朝食分)位で食事可です

日程： 8月18日 16:00 受付開始
(土) 18:00 夕食、バザー、特産物・天文グッズ販売、もちつき
19:00 開会行事＝村長・天文台長の挨拶など
19:30 クイズ、抽選会
20:00 「星座物語」TKU矢部絹子アナウンサー
20:40 観測会 望遠鏡 8台、ドブソニアン50cm望遠鏡
土星最接近、レビー彗星
22:00 緑仙太鼓
22:30 以降は自由に観測。グラウンドにテント有り、体育館で
仮眠可。高原の夜は冷えます。シュラフ、毛布などを
ご持参下さい。流れ星も見えます。

◎ その他 ミニシアター ビデオによるプラネタリウム
ビデオプロジェクターによる『タイムマシン地球号』

8月19日 6:30 朝食
(日) 8:00 閉会式 スターフェスタは、ここで終了です。

※ 昼間は、近くの堤などで遊べます。阿蘇まで車で1時間

問い合わせは・・・〒860 熊本市古京町3-2 熊本市立博物館内

熊本県民天文台事務局 ☎ 096-324-3500

又は、〒861-38 熊本県上益城郡清和村大平385 清和村役場 企画推進室 ☎ 0967-82-2111

シリーズ KOB01の「**彗星の場合」

Comet Levy (1990c)

KOB01

オースチン彗星の話題でにぎやかな5月20日、ペガスス座に一つの彗星が発見された。発見者はアメリカの D. Levy で40cm 反射を用いて9.6等・南西に2分の尾があると報告された。

この彗星は見かけ上の動きが小さく軌道が決定しにくい星だったが、ようやく次のような軌道が中野圭一によって計算された。

Comet Levy (1990c)

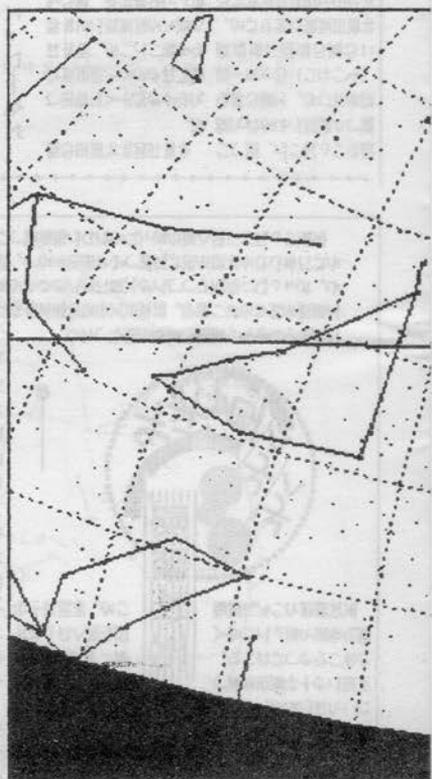
T = 1990 Oct. 24.359 ET	
q = 0.93849	
e = 1.0	Peri. = 242.579
	Node = 138.570 (1950.0)
	Incl. = 131.623

この軌道では、発見時彗星は地球からも太陽からも離れていた。それで、9.6等ということは彗星自体が大きいことを意味している。騒がれたオースチン彗星の観測結果による標準等級は8等だった。現在のところレビー彗星は標準等級3.5等と言うところだ。

発見当初、中野圭一はその知らせを聞いて、ペルセウス座流星群の母彗星スィフト・タットル彗星の回帰ではないかと秘かに期待したという。残念ながらそれは違っていたが、似たような条件で地球に接近する彗星である。

スィフト・タットル彗星は1862年に地球に接近した。その時の観測では、核とその近傍の奇妙な光の流れが記録されている。明るく大きな彗星の場合、長い尾も特徴的で素晴らしい眺めであるが、核付近の複雑な構造も素晴らしい光の芸術といって良い。

KCAOの31cm反射が設置されて8年、ウェスト大彗星以後そのような彗星に出会っていない。かのハレー彗星がその片鱗を見せてくれたに過ぎない。長い尾はともかくとして核付近のはっきりした構造が見えるのではないかと期待する理由がここにある。レビー彗星は今既に8等、20分の尾を見せきっちり輝く核を持っている。まだ日心距離は2天文単位以上というのに・・・。



310° 320°

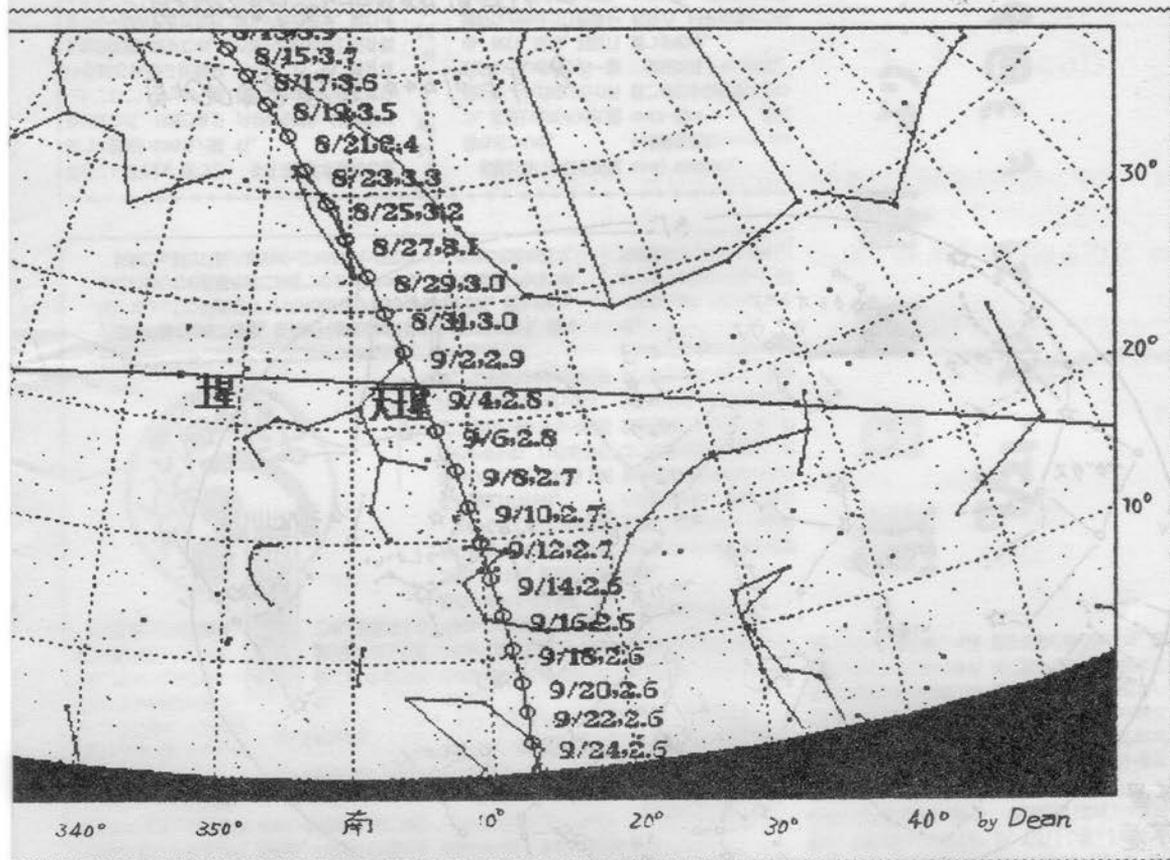
レビー彗星の

レビー彗星は発見後、ずっと動いていない。7月中旬までα₁すのは簡単だ。

その後、西に向かって動き始め、月下旬に衝を迎えてその距離は太陽に向かって進むか地球からも4等以上にはなるだろう。

現在の状況では、近日点通過だが、地球からは遠い上に赤緯がない。南半球に行けば見えるが、観測条件は良くない。いずれにしても7月中旬までが見頃といえる。

彗星は、近日点通過後再び北にどりは早くなって、来春には日本



動き

視線方向の動きで見かけ上あまり And の周辺でループを描く。捜

るとともに地球に接近する。8 0.43AU となる。その後も彗星は 離れて行く。全光度は少なくとも

ころは、4.5 等程度で見えるはず が -40° と低く日本からでは見え 尾が長く伸びたとしてもその観 日本からは 8月中旬から 9月中

方向を変える。12月以降その足 から再会出来るだろう。☾

レビー彗星の観測

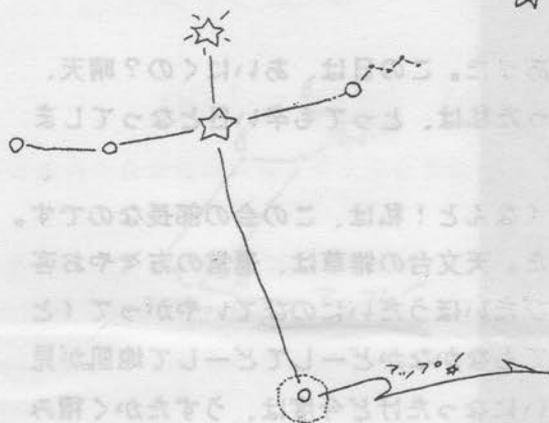
この彗星は、その近日点距離から考えて長い尾をなびかせる彗星ではないだろう。観測の面白さは、大きな望遠鏡でその頭部の詳細を見ることにつけるのではないかな。

上の図は日本時間 8月18日21時の南をみた星空である。彗星の位置は日本時間 9時の位置である。光度も高度もたっぷりある。ひとつ夕涼みがてらに観測されてはいかかかな？ 近くには土星や天王星もあるからね。

8月 17-18日には恒例の「星の降る夜 in 清和」が清和村の井無田高原で開かれます。この時には 4等の彗星は楽しい見物となることでしょう。望遠鏡を持たない人はこんな機会を利用するのも良い方法でしょう。

どんな姿を見せるか、確実なことは何も言えないが、だからこそ彗星は面白い。31cm の偉力が発揮できる彗星になるといいなあ・・・、期待が膨らむレビー彗星である。☾

はくちょう座



今日は何色の服い



写真でえた



さあ、あなたも31cmで見てみよう。
あなたか見た色をね、ね。

夏の夜、大きな羽を広げた白鳥座の頭 アルビオは色の対比のきれいな二重星です。

望遠鏡で見ると、日によって、(あるいは人によって)青と黄色だったり、緑色と橙色だったり、青緑色とムク色だったり、バリエーションに豊んで楽しませてくれます。たった一度ですが、薄紫色と橙色に見えた事があります。

Kuh*

レビー彗星を見よう！

第3回九州スターフェスタ

……くさかり……

6月10日は、天文台の「くさかり」であった。この日は、あいにくの？晴天、絶好の日和で、最近、ひかげの生活が長かった私は、とっても辛い日となってしまいました。

まず手始めに、熊大の天文研究会の人々（なんと！私は、この会の部長なのです。）と、そとまわりの雑草を消し？にかかった。天文台の雑草は、運営の方々やお客さんが夜しか来ないことをいいことに、伸びたいほうだいにのびていやがって（といたくなるほどで）みんなで刈にかかってもなかなかどーしてどーして地肌が見えませぬ。草刈機を出動させてやっときれいになったけど今度は、うずたかく積み重ねられた死体？の火葬がとってもてをやきました。トイレトペーパーとか、ハローワークに火だねを引火するのだけど、うずたかく積まれた死体の山々はそうやすやすとは灰にならなくて全部焼却した頃には空はまっくろけでした。

夕刻の頃から、バーベキューとなり、この日くさかりに参加されたみなさんとこのわたしは炭火を囲み、麦酒を左手に割箸を右手にもちおいしく頂きました。炭火で焼いた鶏肉は、なかなかの味で皆さんはおいしくいただいでいらしゃっていましたが、このわたしは牛肉を久しく口にしていなかったため牛肉ばかり食べていると周りのひとびとは、「三人前もたべてる！！」とか、「大学生は食生活に恵まれていないからなあー。」などと言われましたが、私はめげずにたべつづけました。そうこうしているうちに、皆さんの食欲が減退してくると、「塩屋くん、まだまだあるからどどんたべようね。」と言われとてもうれしかったのですが、《腹八分目に医者いらず》の諺が頭をよぎった途端、なんとなく胃の調子に変調がきたのはやはり、天罰だったのでしょね。

以上のように、自己中心的に書いてみました。

たくさんの人たちとわいわい言いながら草刈をおこなうと、辛くてきつい仕事もそうではなかったかのような気持ちになる。そんな気がしました。

【塩屋 侯治】

☆☆☆☆☆☆スターフェスタでお買物☆☆☆☆☆☆

いかがですかあー？

いよいよ今年もスターフェスタ★星の降る夜 in 清和★が近付いて来ました。会員の方々も多数参加して下さいと思います。(去年は千人以上の方々の参加が

ありました。) **そこで** 今年も又は今年はあるいは今年こそ参加したいなーと
思っている方はどうぞじっくり読んでくださいな。

去年大変賑わった星グッズのお店が今年も店開きします。九州でどこにも売って
いない物等沢山！買物をしてみたい方の為にちょっとだけ値段を御教え致します。

た☆と☆え☆ば

すぐに売り切れちゃった☆キーホルダー………¥500

こんなの



それ

裏はなんと!



ちゃんと日時を

合わせて

星座を捜せす。

ソリチギの所が

かわいい!

これを持っていたらいばれるかな？ ☆ジグソーパズル………¥2,500

星空をプレゼントしたい人に☆星座早見盤付きカード………¥350

持ってて便利☆ポケット星座早見盤………¥300

本当の宇宙スケールの☆天体定規………¥200

星の好きな人にだけ手紙を出したい☆ボードの古星図絵葉書………¥100

12枚セット………¥1,200

あなたの星座の事が判ってしまう☆透明星座下敷き………¥400

暗いともっと綺麗になる☆夜光大星図ポスター………¥1,500

本物の天球儀が高いなーと思っている人に☆組み立て天球儀………¥1,300

暗い所で光る☆星座の葉………¥500

熊本で写した☆天体写真の葉………¥100

綺麗にラッピングしたい人に☆星模様の包装紙………¥200

等々

この他にも色々ありますが、後は買う時の御楽しみです。

清和に行く積もりの無かった方も御買物だけでも楽しいかもしれませんよー。

※尚、数に限りがありますので、早目に買ってね。売り切れたら御免なさい。



～以上、スターフェスタ販売部から御知らせ致しました。～

《《編集後記》》

7月号の表紙は、いろいろと悩みました。しかし、悩んでも何の妙案もでない 我が頭を悔やんでも仕方のないことです。この『星屑』が7月号ということと、いつもと違う表紙をと考えた私の苦肉の策が「暑中お見舞い」です。本来は、はがきで出すものなのでしようが、そして、筆でしたためるものでしょうが、筆でかくことが苦手なもので、そのうえ、「苦肉の策」ということを考慮に入れて頂ければ幸いです。乱字はお許し下さい。

今月のM57の写真を撮って下さった中尾さんに、この場を借りてお礼を申し上げさせていただきます。6月は、梅雨で、たまの晴れ間は月の影響で撮影不可。私の周囲でカラーのM57のネガを所有していただける方はおられなくて、私本人が挑戦！！と思ったのですが、言い訳がましく聞こえるかと思いますが、6月～7月中旬までは、時間のゆとりがなく、手も足も出ずでした。そんな中で、M57のネガを受け取った時は、正直に言って嬉しかったです。『星屑』はみんなで作り上げていくものですね。

【TS-R】

熊本県民天文台機関誌『星屑』 1990年7月号 通巻 185号
 発行所 熊本県民天文台 〒861-42 熊本県下益城郡城南町藤山
 TEL 0964-28-6060

熊本県民天文台事務局 〒860 熊本市古京町3番2号 熊本市博物館内

TEL 096-324-3500

振替口座 熊本8-24463

熊本県民天文台事務局

編集担当 塩屋 侯治

今年の清和は、ここが違う

艶島 敬昭

請うご期待！！

8月18-19日

(土) (日)

1. バイパス開通
(国道218号線、矢部町)で、
清和がぐっと近づいた。
2. もちつき大会 = 「兎のもちつき」
3. 勇壮な清和の太鼓 = 「緑仙太鼓」
も今年から加わった。
4. オースチンを凌ぐか？
レビー新彗星
5. 大迫力！ 超大画面！
ビデオシアター登場
「タイムマシン地球号」上映

第3回です

手作りイベントで、星空と清和の自然を楽しもうという「星の降る夜 in 清和」の催しも、今年で3回目。

オースチン彗星に期待し、そして、
がっかりした天文ファンも、「今度こそ清和でレビーを見るんだ」と、異様に盛り上がりつつある気配さえ見える。

観測条件を考慮し、対象天体を考えて、開催日が2度も変更になってしま

った事などそのように、今年の清和も大成功への道をまっしぐら。

長崎のトミタ50cmドブソニアン鏡を筆頭に、今年もたくさんの望遠鏡が清和の星空に向けられる事だろう。

準備中です

天文台の運営委員を中心に、そして会員や、その周辺の異能集団をも巻き込みつつ、ようやく当日のイベント内容などがその姿を現しつつある。

昨年まで、現地に行ってみなければどこで何が進行しているのかわからない状態もあったようで、盛り上がった割にはいまいち自分の役割に不満の残った人もいたんじゃないだろうか？

そんな不満を解消し、今年の清和をおもいきり完全燃焼で楽しんで頂けるように、「スターフェスタ準備委員会、打ち合わせ記録」が発行されている。

某N氏の手になるこの打ち合わせ記録を見れば、誰が何を準備中であるかが一目でわかるようになっている。

そればかりか、どこが手薄であるかもはっきりと解るのだ。

参加大歓迎

昨年、夕食時、スタッフの為に準備していた食券があつという間に足りなくなってしまう、翌朝用の食券の大半をも夕食用として配ってしまった。

日頃はなかなか天文台に顔を出しにくい会員の中にも、清和の時こそ、自分もスタッフとして参加したいと駆けつけてくれる人たちが大勢いる。本当にありがたい。

そんな会員諸氏に厚かましいお願いを聞いて頂きたいと思う。

ぜひ、天文台にきて、先ほどの打ち合わせ記録に目を通して頂きたい。

たったそれだけ。

そして貴方も、ぜひ、イベントを作る過程に参加してください。うるさいのも居りますが、結構楽しめますよ！

レビー彗星は、今

聞くとところによると、すでに5等台にまで明るくなっている。特に核が明るくはっきりしていて、オースチンとは違い、明るくなる要素十分。

石原さんが28日(土)に見た時、核をとりまくコマの部分が、核から吹き出す噴水のような形に見えたとか。

これから地球に接近し、清和のイベントの頃、日本からの観測条件が最も良くなると聞いては、早く清和に行き

たくなってしまふ。

そういえば、小林寿郎氏も早くからこの彗星のみどころは、「その尾の長さではなく、核近傍の複雑な変化が捕らえられそうな事だ。」と言っていた事を思い出す。

清和の澄んだ空の下、レビー彗星に大いに期待しよう。

太鼓ともちつき

地元清和の歓迎にも、今年は一段と力が入っている。

清和のお米で餅をつき、アンコを入れ、自分で丸めて早速ほおばれば、井無田高原の豊かな自然が、お腹の中にまで満ちあふれる。

そして、星を楽しんだら、今度は、「緑仙太鼓」の勇壮な響き。やっぱり清和は何度来ても最高だ。

タイムマシン地球号

超大型スクリーンに映し出される迫力の画面。これは、池永さんと去年制作した絶対の自信作。

日頃なにげなくわかっているつものの、地球と生命の46億年の歴史を、宇宙船「地球号」=実はタイムマシン=で探検するもの。準備は大変だが絶対楽しめる。

今年こそ清和へ！